

越中谷村一 越中ちや 小説家、俳人。明治二十四年七月二十一日秋田縣生れ、昭和四十五年八月五日歿（一九一七）。舊姓加賀谷。別名松村順吉。大正八年日本大學夜間部に學ぶ。翌年日本社會主義同盟に參加、十年翌年志野騎兵聯隊に入隊とす。二年除隊、昭和二年小川木明等と日本無産派文藝聯盟を組織、翌年全日本無産者藝術聯盟に加盟、昭和八年檢舉せられ翌年釋放、十年滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）入社、戦後『東海鐵道經濟新聞』創刊。

著書『戦争への對分の戦争』（タンチ・ミリタリズム小説集）□（合著・日本左翼文藝家總聯合會藏原惟人編、昭和二年五月、二十五日南東書院）、遺言集『餓甚』（松村順吉名、昭和四十二年一月一日越中谷村一著、出版、岐阜・青樹社）、『越中谷村一著作集』（越中谷村一著作集編輯委員會編、昭和四十二年八月五日岐阜・東海鐵道經濟新聞社）等。